

平成 26 年度文京区障害者地域自立支援協議会 障害当事者部会 検討内容

<実施状況>

- 第 1 回（平成 26 年 7 月 24 日）…平成 25 年度 障害当事者部会の活動について
平成 26 年度 各専門部会の下命事項について
相談支援専門部会からのテーマについて意見交換
- 第 2 回（平成 26 年 11 月 27 日）…就労支援専門部会からのテーマについて意見交換
- 第 3 回（平成 27 年 2 月 19 日）…権利擁護専門部会からのテーマについて意見交換
障害当事者部会の振り返り

<下命事項>

- ・各専門部会から付議された内容についての意見交換
- ・当事者部会で検討された内容について、自立支援協議会(親会)への報告

<検討内容：下命事項により、各専門部会から付議された内容について意見交換を行った>

(1) 相談支援専門部会からのテーマ「楽しいと感じる場所について／ピアカウンセリングについて」

- ・同じ障害をもつ仲間や気心知れた人たちと話をして過ごすことが楽しいという声が多かったが、地域や障害のない人などとの交流も望んでおり、様々な人の興味や関心が集まるようなイベントの開催や食事ができる場所があるとよいとの意見挙がった。
- ・ピアカウンセリングを利用するなら、「同性と 1 対 1」「同じ障害の人と 4・5 人でゆっくり話したい」と様々である。一方で、ピアカウンセリングがどんなものかも分からない、守秘義務は守られるのかといった不安視する声も挙がったため、ピアカウンセリングについての整備と周知が必要。

(2) 就労支援専門部会からのテーマ「職場の理解について」

- ・人事担当者や直属の上司、同僚といった、直接一緒に仕事をする人に対して自分の障害を理解してほしいと思う声が多い。
- ・障害について理解してくれようと感じることもあるが、職種や一緒に働く周りの人たちの気分、状況により理解や配慮が得られていない、又は得にくいと感じる職場もあるとのこと。
- ・障害者が働くためには、障害によってひとりひとり理解や配慮して欲しいことが違うことを知り、職場の環境を工夫することで、多くの職種につくことができ、また継続して働けると考える。

(3) 権利擁護専門部会からのテーマ「日常生活での制限について／福祉サービスや医療の情報収集について」

- ・乗り物に乗ることを拒否されたことや初めての駅で迷ってしまったことについて、事例を挙げて検討した。
- ・乗り物に限らず、入店などでも、はっきりと断られるよりも、「対応が難しい」という理由や、沢山の質問事項を挙げられてしまうことで仕方なく諦めさせられてしまっていることの経験の方が多いたとの意見が挙がった。また、従業員の知識不足により拒否されてしまうことも多いため、お店側も知識や理解を得ることが必要。
- ・駅については、情報を得る権利としても、障害者でもわかりやすい表示が必要との意見や、線路への落下など大変危険なこともあるため、最低限の設備は安全を守るうえでも整えてほしいとの意見が挙がった。
- ・区報や区役所への相談、また、同じ障害のある仲間から情報を得ることが多い。また、自分から情報を得なければならないことが多く、能動的に福祉サービスを周知することが必要との意見が挙げられた。